

平成28年度

石巻市子どもの未来づくり事業（第Ⅱ期）

「学習指導の改善を図る研修会」

本研修会は、石巻市内小・中学校の教員を対象に平成27年度から本格的にスタートし、今年で2年目となります。石巻市の各小中学校が抱える学校課題の解決に向けて、「学級づくり」「人間関係づくり」「信頼関係づくり」「児童生徒理解」の4つの視点から教員の指導力向上を図り、その結果、学級や学校の力が向上し、学力も向上していくという認識のもと、取り組んでいるものです。

第9回、第10回研修会

○日時 平成28年11月7日（月）、8日（火）9：25～

○場所 石巻市立万石浦小学校体育館

○講師 広島大学大学院教育学研究科附属教育実践総合センター長 栗原慎二教授



「グー！明日も元気
おいでね。」



「校長先生、さようなら。
やさしく、かしこく、たくましく！」



☆研修内容

7日午前：子どもの発達と発達障害

愛着に課題を抱える子どもの
理解と支援

午後：アセスの読み取り方の演習

8日午前：ブリーフカウンセリング

午前：校内における組織的な支援の
進め方のポイント

<受講者の声>

- ・子どもの発達と発達障害について講義を受けました。これまでの教育では子どもたちに対して「行動のコントロール」で済んでしまいましたが、多様化する子どもの発達において「1. サポート、2. レディネス、3. 指導」の順をしっかり押さえて指導・支援していかななくてはならないことを再確認できました。（中学校・男性）
- ・アセスの読み取りの演習は、実践的でとても勉強になりました。実際の数値のもつ意味、他の項目との関連、担任の観察・所見を組み合わせ、建設的に分析していくこの技法は、根拠が明確なので、ぶれない指導を継続していける強みがあると改めて感じました。今までの生徒指導の隙間を埋め、確立されたこの考えは、スタンダードとして定着していくと思います。（小学校・男性）
- ・ブリーフカウンセリングの手法は是非、学校で若い先生方に伝講したい。自分自身が体験することでその良さを実感することができた。気になる生徒に対しても（その保護者に対しても）行ってみたいと思う。これから三者面談のシーズンとなり、この手法が役に立つであろう。（中学校・女性）
- ・チーム会議の演習が良かったです。効率よく行うには時間を意識することがとても大切だと思いました。ブレインストーミングではいろいろな案が出るだけでなく楽しくできたので、チーム会議は当事者の負担軽減にもなるよい方法だと思います。昨年から小学校勤務で孤独を感じていました。今まではチームで生徒指導にあたるのが当たり前だったので、慣れるのに時間がかかっています。「指導力」という言葉に縛られたくないです。（小学校・女性）